取締役会全体の実効性について

株式会社ジェイエイシーリクルートメント

ガバナンス等取締役及び取締役会が負う責務に対し、当社はこれらが継続的かつ実効的に果たされているか、事業年度終了後（翌事業年度直ちに）実効性評価を行います。評価結果は取締役会に報告の上、協議を経て、新事業年度の運営等を適切にはかる視点としています。

1.　2025 事業年度の取締役会実効性評価（以下「本調査」という。）について

2025 事業年度については、2025 事業年度終了後直ちに下記要領にて調査を実施し、2026 年 2 月 13 日開催の取締役会に報告いたしました。

(1) 調査要領

当社は、対象事業年度下期に、本調査の在り方につき同時期において提出される独立役員会意見を踏まえ、取締役会にて対象事業年度の調査要領を確定します。

2025 事業年度は、2025 年度終了時に在籍する全取締役を対象とし、下記大項目に対し 38 個の質問をもって、４段階評価にて実効性を評価しました。

大項目：

A)　取締役会の構成
B)　取締役会の役割・責務
C)　投資家との対話
D)　投資家以外のステークホルダーとの対話
E)　サステナビリティに係る対話
F)　取締役会の監督機能
G)　取締役会運営（開催時期、取締役会議長、取締役会議案、等）
H)　その他（取締役研修等）
I)　独立役員会及び監査等委員会に係る項目

(2) 調査結果

2025 事業年度の評価は、全体としては高い評価を維持しておりますところ、2024 事業年度の評価より悪化致しました。特に健全なガバナンスの維持のための協議を一層推進すべき旨、独立役員より意見が呈されました。

2.　2024 事業年度から 2025 事業年度における改善状況

2024 年事業年度の評価にて改善期待が呈されました「ジェンダー・国際性・職歴等の多様性」につきましては、2025 年事業年度は改善の評価を得ました。

悪化した項目につきましては、独立役員から呈されました意見等を踏まえ、上記健全なガバナンスの維持等に係る課題を取締役会他にて真摯に協議し、改善に繋げ、もって取締役会の実効性を一層高めて参ります。